

キャリアの段階に合わせた研修制度

課程別研修	選択・専門研修
新規採用職員研修	薬剤師研修
勤務3年目研修	2年目薬剤師研修
キャリア形成研修 (5・10・15・20年目)	リーダーシップ研修
新管理者研修	OJT研修
(研修メニューは一例)	
外部研修	
●各種学会参加・発表 ●日本病院会による病院中堅職員育成研修 等	

チーム医療で活躍する認定薬剤師

感染制御専門薬剤師	インフェクションコントロールドクター (薬剤師)
感染制御認定薬剤師	麻薬教育認定薬剤師
抗菌化学療法認定薬剤師	緩和薬物療法認定薬剤師
精神科薬物療法認定薬剤師	漢方薬・生薬認定薬剤師
栄養サポートチーム専門療法士	認定スポーツファーマシスト
小児薬物療法認定薬剤師	研修認定薬剤師 (日本薬剤師研修センター)
妊婦・授乳婦薬物療法認定薬剤師	認定実務実習指導薬剤師
日本糖尿病療養指導士	精神薬学認定薬剤師
HIV 感染症薬物療法認定薬剤師	老年薬学認定薬剤師
登録抗酸菌症エキスパート	糖尿病薬物療法准認定薬剤師 (取得している認定の一部)
認定吸入指導薬剤師	

PHARMACIST GUIDE

in nagano prefectural hospital

～長野県立病院の薬剤師・薬剤部～



県立病院機構の待遇・福利厚生

給与月額	法人の規程により支給
給与モデルケース (2023年1月現在)	新卒：約 258,519 円 経験 10 年：約 310,421 円 経験 15 年：約 337,168 円
賞与	年 2 回 (6 月・12 月)
昇給	年 1 回
各種手当	扶養手当、住居手当、通勤手当、特殊勤務手当、超過勤務手当 等
社会保険	地方職員共済組合 (健康保険・年金)、雇用保険
勤務地	県立病院のいずれかに勤務
異動	本人の希望等を勘案しつつ異動
赴任旅費	(採用時も含め) 法人の規程により支給
勤務時間	7 時間 45 分 (8:30 ～ 17:15 うち休憩時間 60 分)
休日	土・日曜日、国民の休日、年末年始 (12/29 ～ 1/3)
休暇	年次休暇 (25 日/年度・夏季休暇 5 日を含む) 療養休暇、介護休暇、特別休暇、産前産後休暇 (産前 8 週・産後 8 週)
休業	育児休業、自己啓発休業、修学部分休業 等
その他	長野県職員互助会、各種祝い金、宿舍、被服貸与、院内保育所 等

病院薬剤師を目指す方を応援します (薬剤師奨学金返還助成制度の概要)

対象者	新卒薬剤師 (原則) で、大学在学期間中に「独立行政法人日本学生支援機構 (JASSO)」等の公的機関の貸与型奨学金の貸与を受け、奨学金の返還義務のある方
助成額	毎月の返還相当額 (月の上限 5 万円)、助成総額 360 万円 (上限)
助成期間	最長 10 年

インターンシップ
随時受付しています。
QRコードから
ご確認ください。



お問合せは
こちらまで

地方独立行政法人長野県立病院機構本部事務局人事課
〒380-8570 長野市大字南長野字幅下 692-2

☎ 026-235-7156

yakugakusei@pref-nagano-hosp.jp

2023年1月発行



地域の明日を医療で支える
地方独立行政法人 長野県立病院機構

(この冊子は、薬剤師・薬学生の皆様に長野県立病院機構の薬剤師・薬剤部を紹介するものです。)

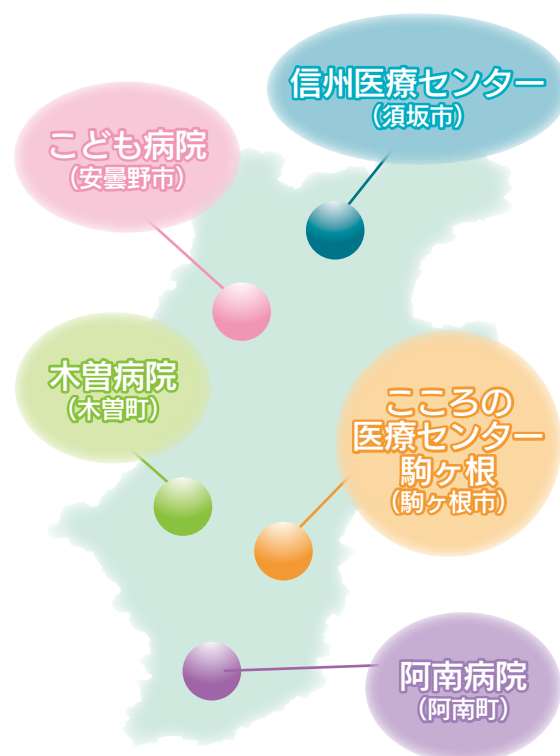
長野県立病院機構とは

2010年に長野県の100%出資により設立され、地域医療や専門医療を担う県立5病院(※)で構成されています。

2022年4月時点での機構の総職員数は、およそ1,500名ですが、そのうち薬剤師は50名が5病院の薬剤部に在籍しています。

- 基本理念
- 県民の皆様が安心して質の高い医療サービスを安定的に提供していきます。
- 目 標
- 1 基幹病院として地域の医療を支えるとともに、人口減少や少子高齢化を見据えた医療を提供します。
 - 2 医療・保健・福祉との連携を深め、地域全体の医療機能を向上します。
 - 3 医療従事者の確保・育成機能の充実と看護人材の安定的かつ継続的な育成を図ります。
 - 4 安心・安全な医療を提供し、患者サービスを一層向上します。
 - 5 地方独立行政法人の強みを活かした確実な病院経営を継続します。

地域を支える 県立5病院(※)



信州医療センター

診療科

内科、脳神経内科、呼吸器・感染症内科、循環器内科、血管内科、腎臓内科、糖尿病内科、肝臓内科、小児科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、麻酔科、リハビリテーション科、精神科、病理・臨床検査科、遺伝子検査科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、呼吸器外科、血管外科



病床数320床 薬剤師16名

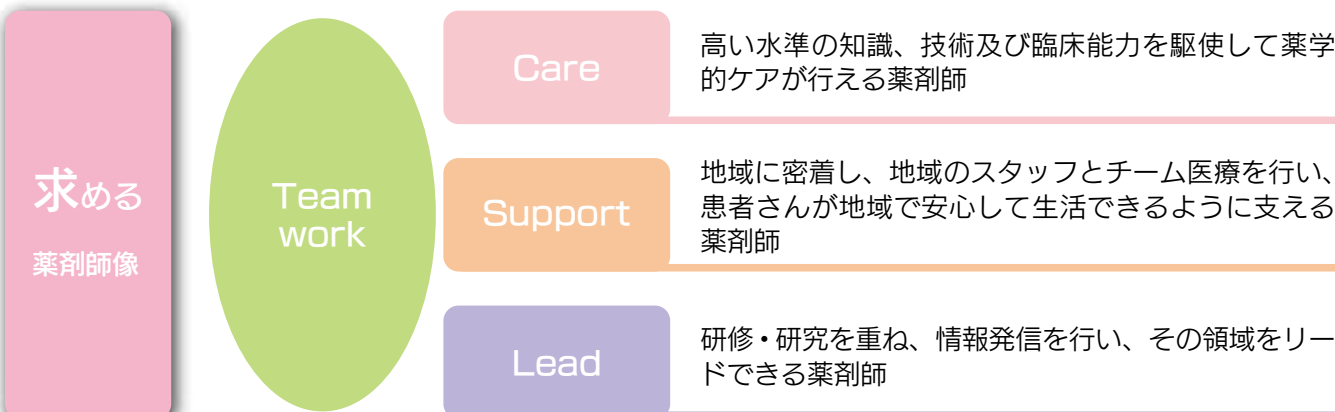
専門的な視点を持ってチーム医療に参加し、地域連携にも力を注ぐ

薬剤師の臨床能力を向上させるためにフィジカルアセスメントの実践やバイタルチェックによる患者評価、画像読影スキルに力をいれ、患者さん中心の医療を実践しています。各薬剤師は、専門的な視点を持ってチーム医療に参加し、地域連携にも力を注ぐなど、多職種と連携し患者さん一人ひとりに寄り添う質の高い医療を提供しています。



長野県立病院機構薬剤部

- 基本理念
- 薬物療法の『エキスパート・ジェネラリスト』(※)として、地域医療・専門医療を実践します。
- ※薬物療法の観点から医療をプロデュースする専門家
- 基本方針
- 1 5病院の特性とニーズに応じて、質の高い薬物療法を提供します。
 - 2 薬物療法を通じて、地域全体の医療機能を向上します。
 - 3 5病院の強みを活かした研修・研究により、優れた薬剤師の養成と医療人の育成に努めます。
 - 4 医薬品の適正使用を推進し、患者安全に貢献します。
 - 5 5病院の連携・協働により、病院の発展に貢献します



感染制御認定
薬剤師を目指
したい

柳澤 峻

出身大学 東京薬科大学(2021卒)

出身地 長野県飯綱町

現在の業務

救急病棟を担当しており、新規入院患者さんや術後患者さん等の薬物治療に携わっています。

そのほかにも AST・ICT、排尿ケアチーム呼吸サポートチームを担当しています。

今後目指していきたいこと

感染制御認定薬剤師の資格取得を目指していきたいと考えています。



薬薬連携にも
力を入れて
いきたい

池田 知生

出身大学 東邦大学(2022卒)

出身地 長野県松本市

現在の業務

午前中はTPNや抗がん剤の調製業務や外来患者さんへの服薬指導。

午後は指定の時刻に間に合うように翌日の注射セットや保険薬局からの問い合わせに対応しています。

今後目指していきたいこと

地域の保険薬局との薬薬連携に力を入れていきたいと思っています。

こころの医療センター駒ヶ根

診療科

精神科



病床数129床 薬剤師4名

薬物療法だけでなく心もサポートしたい！

精神疾患は薬物療法が中心であることが多く、薬剤師の専門性を活かすことができます。DIEPSS などの評価尺度を用いた治療評価や、患者さんが病識を深めるための心理教育・家族学習会など様々な服薬支援など多岐に渡ります。精神科領域は苦手意識を持つ方が多いかと思いますが、得るところの多い領域であると実感しています。少子高齢化が進むこの地域で、多職種携を通して心のこもった医療の提供を行っています。



阿南病院 併設施設 介護老人保健施設アイライフあなん

診療科

内科・精神科・小児科・外科・整形外科・皮膚科・泌尿器科・婦人科・眼科・リハビリテーション科・放射線科・麻酔科



病床数85床 薬剤師4名

巡回診療への同行、在宅訪問などの院外活動にも注力

下伊那南部唯一の中核病院で、救急告示病院、へき地医療拠点病院としての役割も果たしています。

薬剤師は、調剤業務、病棟業務といった院内活動の他に、無医地区への巡回診療の同行、通院困難な患者さんへの在宅訪問などの院外活動にも力を入れています。



8大疾患の知識も修得に努めたい

土田 さおり

出身大学 愛知学院大学(2022卒)

出身地 長野県下諏訪町

現在の業務

現在は調剤業務をはじめとしたセントラル業務ほか、病棟業務を行っています。病棟業務では服薬指導や服薬状況管理だけでなく、患者さんが病識を深めるための心理教育など様々な服薬支援を行っています。

今後目指していきたいこと

まずは精神科だけでなく8大疾患に関する知識の修得に努めます。また中長期目標として学会での研究発表ほか日々の業務の成果として認定資格の取得を目指します。

病院機構
ならでは

入職2年目の
他病院研修



長野県立病院機構では入職2年目の薬剤師を中心に他病院の研修があります。本部研修センターがある信州医療センターにおいてシミュレーション研修やフィジカルアセスメント、病棟業務、チーム医療を学んでいます。信州医療センターに配属となった薬剤師は他の好きな病院へ研修に行きます。病院が違えば病気や患者さんも違います。自分が病棟業務に出るときに、他病院を経験することでいろんな解決方法を見つけることができるかもしれません。また、自分が経験したことのない症例や薬物療法および患者さんに接することで薬剤師として一回り大きくなることができるでしょう。

こんな経験ができるのもいろんな専門分野をもった長野県立病院機構ならではであり、他病院では味わえない研修といえるでしょう。



柳澤さん(信州)
こころの医療センター
駒ヶ根にて研修

上條さん(木曽)、
深町さん(こども)
信州医療センター
(研修センター)
にて研修



患者さん
一人一人に
寄り添いたい

仲沢 翔子

出身大学 横浜薬科大学(2022卒)

出身地 長野県佐久市

現在の業務

内服薬、注射薬の調剤や監査、抗がん剤調製など薬剤師の基礎となる業務を中心に行っています。最近では病棟業務を担当し始め、服薬指導など患者さんと接する機会も増えました。

今後目指していきたいこと

患者さん一人一人に寄り添い、他のスタッフからも信頼されるような薬剤師を目指し、日々精進していきたいと思っています。



木曽病院

併設施設 介護老人保健施設アイライフきそ /
介護医療院ユーライフきそ

診療科

内科、消化器内科、循環器内科、脳神経内科、外科、整形外科、小児科、眼科、脳神経外科、産婦人科、耳鼻咽喉科、精神科、泌尿器科、皮膚科、放射線科、形成外科、麻酔科、血液内科、呼吸器科、リハビリテーション科、歯科口腔外科



木曽郡内唯一の病院で、エキスパート・ジェネラリストになる！

木曽地域に唯一の病院です。21診療科を展開するとともに、災害拠点病院、地域がん診療病院としての役割も担っています。薬剤師は11名。がん、緩和ケア、感染など全員で関わります。「皆で高みを目指す」をスローガンに、良い医療提供のため努力しています。薬剤師に対する期待も高く、やりがいも大きいです。





こども病院

診療科

総合小児科、感染症科、アレルギー科、血液腫瘍科、神経小児科、循環器小児科、遺伝科、こころの診療科、新生児科、産科、心臓血管外科、小児外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、泌尿器科、眼科、耳鼻いんこう科、小児集中治療科、麻酔科、放射線科、臨床検査科、リハビリテーション科



薬物療法を通じて、こども達の笑顔を守りたい

こどもの体重、年齢や発達段階に応じた薬用量の調整、剤型変更のほか、水分負荷を考慮した注射調製や、小児がんに対する抗がん剤調製を行っています。また小児は添付文書情報に限られ、適応外使用も少なくないため、薬剤師の武器である薬物動態学や製剤学などの薬学的知識を駆使して、高度専門医療に貢献しています。





ジェネラリストが目標

上條 梨紗

出身大学 国際医療福祉大学(2021卒)

出身地 福島県会津若松市

現在の業務

一般病棟で診療科問わず様々な患者さんの薬物療法に携わらせてもらっています。その他にも褥瘡対策チームを担当しています。

今後目指していきたいこと

薬物療法のジェネラリストになることが目標です。また患者さんにとって些細なことも相談しやすい医療者でありたいと思っています。



頼られる薬剤師に

関 彩香

出身大学 国際医療福祉大学(2022卒)

出身地 長野県上田市

現在の業務

調剤室での調剤業務に加え、注射薬のセットや抗がん剤の無菌調製といった注射業務を行ったり、また、最近では婦人科メインの病棟での病棟業務も任されるようになりました。

今後目指していきたいこと

多くの業務を任されるようになった今、薬にも患者さんにも触れる機会も増え、仕事の楽しさを感じる反面、リスクがいつでも伴うことへの責任の重さをととも感じます。日々の業務で手一杯になってしまいがちですが、そんな中でも患者さんに頼っていただけるような薬剤師になっていけたらと思います。



ジェネラリストになるため日々努力

宮下 竜雅

出身大学 昭和大学(2022卒)

出身地 長野県松本市

現在の業務

セントラル業務（調剤業務、注射業務、抗がん剤調製、TPN 調製、持参薬鑑別）

今後目指していきたいこと

病棟薬剤師として、セントラル業務を後輩に説明出来るようになり、病棟業務では患者さんのために薬剤師としてどう関わり、幅広い薬の知識で治療に貢献できるジェネラリストになるため日々努力をしています。



子どもやご家族を支えていきたい

木口 このみ

出身大学 昭和薬科大学(2020卒)

出身地 長野県塩尻市

現在の業務

病棟業務、調剤・注射業務、抗がん剤調製・監査

今後目指していきたいこと

血液腫瘍科を主とする病棟担当薬剤師として、確実に安全に治療が実施できるよう薬学的視点を大切にチーム医療に携わり、治療に対する不安や苦痛を緩和できるよう子どもやご家族を支えていきたいと思っています。